



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター
平成29年4月20日
No.130

平成29年度 森林教室について

平成29年度の森林教室の開催予定をお知らせします。

募集受付は、イベント実施日の概ね1ヶ月前から受付する見込みです。

第1回森林教室 白神の湖沼とブナ林を巡る

月 日：平成29年5月27日（土）

開催場所：青森県西津軽郡深浦町 十二湖

募集人員：親子での参加を優先し、応募多数の場合は抽選により30名。

参加費：200円（傷害保険料外・バス代は無料です）

出発地：青森市役所柳川庁舎前（午前7時集合）

その他：雨具・昼食持参

募集期間：4月24日（月）～5月12日（金）

※平日8時30分～17時15分まで（土日祝日除く）

応募方法：電話・FAX・ハガキにてお申し込みください。

※お申し込み前にホームページ、チラシ等で詳細をご確認ください。

* 第2回森林教室は10月14日（土）、実施場所は釣瓶落峠等を予定しております。
詳細につきましては、確定次第「白神の絆」でお知らせいたします。

人事異動（平成29年4月1日付け）

○お世話になりました

所 長 石田 和彦 → 東北森林管理局 森林整備部企画官
(供給戦略担当)

生態系管理指導官 森川 寛 → 津軽森林管理署 森林技術指導官

○よろしくお願ひします

所 長 寺田 治男 ← 東北森林管理局 森林整備部企画官
(自然再生担当)

生態系管理指導官 三浦 幸久 ← 東北森林管理局 資源活用課技術指導官

お世話になりました

東北森林管理局 森林整備部企画官（供給戦略担当） 石田 和彦

4月1日付けで秋田市にある東北森林管理局に異動となりました。皆様には3年間に渡り、森林教室・自然再生活動・活動展・木工教室などでお会いでき、センターに格別なご支援をいただき感謝の気持ちで一杯です。白神山地は、ニホンジカ、マツ枯れ、ナラ枯れ、不法伐採、マナー違反など生態系への影響を払拭できない状況が続いています。皆様や関係機関との共通した認識や連携、「白神の絆」が、ますます重要になって来ると思います。次世代に世界の宝、白神山地を引継いで行くため、今後ともセンターへ変わらぬご支援をお願い申し上げます。今後は、国産材の安定供給・利用促進、森林整備という角度から自然環境に携わって参りますので引き続きよろしくお願いたします。

転出のあいさつ

津軽森林管理署 森林技術指導官 森川 寛

平成27年8月から1年8ヶ月間、当センター所属の職員でありながら、津軽森林管理署に席を置いて、センター業務の一部のほか、関係機関と連携して白神山地関連の仕事をさせて頂きました。4月からは、津軽森林管理署の所属となりますが、白神山地に関わる仕事もさせて頂くことになっておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

29年度 新体制で始まります



川村 三浦 寺田 吉川 有本 下山

【職員からのひとこと】

所長 寺田 治男

日頃より、津軽白神森林生態系保全センターの諸活動にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

4月1日付けで津軽白神森林生態系保全センターにお世話になります、寺田治男です。前任は自然再生担当の企画官でしたので、津軽白神森林生態系保全センターとは、自然再生協議会や自然再生活動で大変お世話になりました。

また、早池峰山への進入が危惧されるシカの行動圏調査や森林鳥獣被害対策技術高度化実証事業も担当しており、シカの被害防止対策に携わっておりました。

白神山地世界遺産周辺にもシカの進入が危惧される状況ですので、これまでの経験を生かして被害防止対策に取り組んでいきたいと考えております。

更に「自然再生マップ」に基づいた自然再生活動や森林環境教育等に継続して取り組んでいきます。

当センターの活動は、多くの地域住民、ボランティア団体等のご協力、ご支援なくしては成り立ちません。これまでと同様、ご協力をお願いしまして、着任の挨拶とさせていただきます。

生態系管理指導官 三浦 幸久

4月1日付けで生態系管理指導官として着任しました三浦です。これからよろしくお願いいたします。

今後業務で携わる世界遺産地域白神山地という名称に、及び腰な感はありますが関係機関、関係団体と連携しつつ指導を賜り、みなさまのお役に立ちたいと思います。

これから白神山地に関わっていくわけですが、初めての機会ですので、楽しみながら業務に取り組んでいきたいと考えております。

自然再生指導官 吉川 浩人

自然再生指導官の吉川です。当センターでは、白神山地世界自然遺産地域周辺のスギ人工林を元々の植生である広葉樹林に戻すため、苗木の採取や植付けなどを行う「自然再生活動」に取り組んでいます。100年後を見据えたブナ林の再生作業を多くの方に体験してもらいたいと考えていますので、今年度もよろしく申し上げます。

専門官 有本 実

ここ数年、白神山地はシカばかりが問題視されがちですが、アライグマやハクビシンも増加傾向にあるようです。今年はセンサーカメラを30箇所を増設します！

また、着任3年目となった今年度は、この2年間休日に撮りためてきた動植物や風景の写真を、毎月1枚ずつ最後のページでご紹介していきます。お楽しみに。

行政専門員 川村 幸春

深浦町の十二湖では山開きが行われ、鱒ヶ沢町の赤石川・中村川は雪解け水で水量が多くなっています。西目屋村では水陸両用バスがいよいよ運行します。

冬の厳しさから解き放されたように、草花が咲き始め、木々が芽生え、山に命踊る季節の到来です。しかし、ニホンジカやナラ枯れ等、歓迎されない事案も増えて来ており、対応も多岐に渡るのか。今年もお世話になります。

非常勤職員 下山 優美

126号から「白神の絆」の編集を行っておりますが、レイアウトや配色など見やすい紙面になるように努力したいと思います。今年度もよろしく申し上げます。

十二湖山開きが行われました



雪が残る青池

津軽国定公園に指定されている深浦町の十二湖で4月13日（木）、町主催の山開きが行われました。

山開きに先立って神事が行われ、100名を超える関係者が参加してシーズン中の無事故を祈願しました。その後の式典では主催者を代表した吉田深浦町長から「関係者と連携を深めることで誘客を図っていききたい」と挨拶があったところです。関係者によるテープカットで山開きを祝った後、参加者は十二湖「青池」などを散策しました。

世界自然遺産・白神山地のふもとにある十二湖は大小33の湖沼があり、多くの観光客が訪れますが、レクリエーションの森となる自然休養林にもなっていて、当センターでは町と共催で公募による森林教室を毎年開催しています。（吉川）

今月の一枚

専門官 有本 実



ヒメホテイラン（2016.4.16 西津軽郡）

小さい！というのがこの花を初めて見たときの第一印象です。学生時代、南アルプスのコメツガ林で純正？の“ホテイラン”を撮影していましたが、それより二回りは小さく感じられます。ここは標高約200mの西向き斜面で、当日は10数株が丁度見頃でした。3月に積雪量が急増した今年は一体いつ咲くのでしょうか？…昨年と同日の4月16日に現地を訪ねたところ、すでに数株が開花していました。いよいよ春本番、ですね。

